

令和2年第10回下松市教育委員会定例会議事録

- 1 開催日時 令和2年11月26日(木)午後1時30分～午後1時56分
- 2 開催場所 下松市役所 5階 501会議室
- 3 出席委員等
教育長 玉川 良雄
委員 江口 雄二
委員 篠原 照男
委員 白木 正博
委員 林 哲人
委員 木佐谷 真理子
- 4 会議に出席した事務局職員
教育部長 小田 修
教育次長 河村 貴子
学校教育課長 世木 尚
学校給食課長 池田 千帆
生涯学習振興課長 片山 康秀
図書館長 長弘 純子
- 5 会議の書記 教育総務課長補佐 引頭 康行
- 6 会議録の署名委員 篠原 照男 白木 正博
- 7 会議の傍聴人 0人
- 8 会議に付した議題
(1) 議案第26号 下松市小中学校ICT教育推進協議会規則について
(2) 報告第25号 下松市教育大綱案の修正について

9 会議の付議の顛末

○**教育長** 本日の議事録署名委員さんは、篠原委員さんと白木委員さんでお願いいたします。
本日の日程は、お配りした議案のほうとなっております。本日2件ございますので、よろしく
お願いいたします。

(1) 議案第26号 下松市小中学校ICT教育推進協議会規則について

○**教育長** それでは、まず議案第26号、下松市小中学校ICT教育推進協議会規則についてを議
題といたします。

担当課長のほうから説明をお願いいたします。世木学校教育課長。

○**学校教育課長** それでは、議案第26号、下松市小中学校ICT教育推進協議会規則についてで
あります。

この規則は、GIGAスクール構想の実現に向け、本市のICT教育を総合的に推進するため
に必要な調査研修等を行うため、下松市小中学校ICT教育推進協議会を新たに設置するに当
たり、その組織運営、その他必要な事項を定めるものであります。

協議会には各校の代表者が出席し、実践事例の紹介や今後のICT教育の推進に関する協議等
を行いながら、教材用ソフトの導入やオンライン学習の進め方等について研究を進めたいと考

ております。

また、今後、教育総務課の計画により、段階的にタブレットが各校に導入されますので、協議会においてタブレットの活用法についても研修を行い、各校に還元していく予定としております。

以上、ご審議をよろしく申し上げます。

○**教育長** それでは、質疑のほうに入りたいと思います。質疑ある方は挙手をお願いいたします。白木委員。

○**委員** 「協議会は次に掲げるものをもって」というのがありますけれども、普通この手の規則とかいうのは、人数とか任期とか、よう書いてあるんですが、これはどこも書いてないんですね。だから、ひょっとすれば「施行に関し必要な事項については会長が別に定める」というのがあるから、そこで定められるのかな、と思うんですが、普通本則のほうで定めるのが普通だと思うんですけど。これは書きにくいから書いていなかったのか、あうんの呼吸でやられるのか、何かかなと思っていろいろいるんですが。その辺はどうでしょう。

○**教育長** 世木課長。

○**学校教育課長** ここには書いておりませんが、一応組織は会長は小学校の校長、副会長に中学校の教頭を据えて、あと教務主任が小中学校から1名ずつ、そして各学校10校ありますが、小中学校の情報教育担当が1名ずつ、そして事務局という構成で進めることとしています。

今後、またその辺りの状況によって体制変化していく可能性もあるのではないかと、その辺も含めてのことだと思えます。

以上です。

○**教育長** 任期とかは。

○**学校教育課長** 任期については、特に定めてはおりません。

○**委員** 定期的に開かれる会合です、月何回とか。

○**教育長** 世木課長。

○**学校教育課長** とりあえず、年度内に、3月までにまず3回程度（「3回」と言う者あり。）実施したいなと思っておりますが、来年度以降ももちろん継続していくということになろうかと思えます。

○**教育長** 白木委員。

○**委員** これはセキュリティーに関することというのに入っていますが、これはかなり高度な知識がいると思うんですが、これはその他、教育委員会が必要と認める者という中で、民間の方を入れるというのも想定されているんですか。

○**教育長** 世木課長。

○**学校教育課長** この協議会でも協議をするんですが、やっぱりサポーターとして、先般契約しましたGIGAスクールサポーターですね、この方々に助言を頂きながら決めていくということになろうかと思えます。

○**教育長** 林委員。

○**委員** 実際の教員の研修になった場合に、かなりのもちろん一人一人の力の違いもあるでしょうから相当な時間、だから例えば長期休業中とか、そういうところにある程度取らないと。今、私が多分そこで、これ行ったら恐らく1か月ぐらい集中してやってもらっても、なかなか身につかないんじゃないかなと思うんです。そういう研修の時期とか、このぐらいまでは行ってほしいという個人の目標ちゅうか、その辺りのことはどうでしょう。

○**教育長** 世木課長。

○**学校教育課長** 最終的な目標ということになりますと、オンラインによる授業を行えるようなレベルまでというのは考えておりますが、もちろんすぐすぐそういうふうな能力を身につけられる訳ではありません。この協議会とは別に、やはり各学校の校内研修であるとか、市教委主催の教員対象として研修会というのは来年度実施していく必要があると考えていまして、その辺りの計画も進めているところです。

当面は、まずは段階があるかと思うんですが、今の先生方をお願いしているのは、まずはICTを使おうという、とにかく触ってみようというところを今、前段階としてお願いしているところです。

○**教育長** 目標としては、最終目標はオンラインの授業が、それぞれの先生方が教科の目標等に応じてできるようになるということを最終目標に置いているということによろしいんですかね。

○**学校教育課長** 目標はですね。

○**委員** オンラインの授業と今の授業との大きな違いというのは何になるかな。例えばタブレット1つあったら、私国語なので国語の授業で意味調べ何かのときには、すぐそれ使ってできますよね。それから、その意味調べとか理科なんかで用語について調べたら、恐らく今度は絵なんかで出る。だから実際の自分が国語辞典を引いて調べたり、それから理科の今まで持っていたようなワークブックとか参考書とか、ああいう類いがちょっと減ってくるのかな、という気はしているんですよね。

今、小中学生、毎日、毎日かばんの中にいろんな教科書が詰まり、ワークが詰まり、物すごく重たいですね。あの辺の軽減はできるのかな、という気はしているんです。

ただ、逆に、国語で言えば辞書の使い方とか、辞書を活用するということについては、やっぱりすごく大事なことだと思うんで、その辺がおろそかになっていくのは、ちょっとどうかなという気はしています。

○**教育長** 世木課長。

○**学校教育課長** そうですね、オンライン実施する場合というのは、やはり不測の事態であろうと思います。対面授業がやはり一番ですので、オンラインを日常的にやっていくという認識ではなく、臨時休業であるとか、その辺りの事態が発生したときというような想定をしています。

○**教育長** 篠原委員。

○**委員** オンライン授業というのは、あくまでも将来的にはそんなに必要になってくるのかなとかいうのは、要は今コロナがあるから、いつ学校が休校になるか分からない、なったときに、やっぱりそれがあるといいという。当面の例えばこの二、三年か一、二年、オンライン授業というのをかなり急いでということになるかもしれないけれども、もうコロナが通常の季節性の風邪と変わらないという事態になってきたら、むしろ授業の補助というか授業のサポートあるいは宿題なんかの一部に関して、それを使うちゅうことがむしろ大切になってくるんであって。

オンライン授業というのは、もうこの一、二年だけが重要性があるちゅうことだろうと思うので、オンラインに特化した教科も必要だけど、それ以外のもののほうがむしろ本当は重要じゃないかなという気はするんですけどね。

○**教育長** 小田部長。

○**教育部長** 確におっしゃるとおりだと思います。通常時にタブレットを使って、どういうふうに授業に生かしていくかというのが一番大事で、そのためにはやっぱりアプリとかソフトがどんどん今からいいものが開発されてくると思います。

それと今、国のほうでもデジタル教科書を導入しようという動きがあって、文部科学省の来年度の概算要求でも約53億円ぐらいかけて積極的にデジタル教科書を導入しようということでございますので、デジタル教科書なんかを導入されれば、まさにすぐ検索とか可能ですので、有効ではないかと思っております。

○**教育長** 特殊技術が多少要るかもしれないですね、オンラインは。ただ、普段の文房具の一つとして使えるように、子供たちが、先生が使うちゅうよりも、子供たちが使えるようになる、そういう力をつけていくちゅうことが授業なりに求められているかなと思う、今話を聞いて、はい、思いましたね。

ほかにございますか。これについてはよろしいですかね。（「はい」と言う者あり。）そして、異議のある方いらっしゃらないということで、可決いたします。

(2) 報告第25号 下松市教育大綱案の修正について

○**教育長** それでは、続きまして、報告第25号、下松市教育大綱案の修正についてを議題といたします。

説明をお願いいたします。小田教育部長。

○**教育部長** それでは、報告第25号、下松市教育大綱案の修正について、ご報告します。

次のページ、4ページの修正前と5ページの修正後を見てください。

さきの11月12日に開催されました総合教育会議は大変お疲れさまでございました。この教育大綱案について多くの意見を頂きました。特に学校教育の充実のところの小中学校教育の推進に関して意見が出ましたが、委員さんの意見をできるだけ反映するように協議をいたしました。

修正点としましては、1ページに納まる範囲で下松市教育の指針に書かれている内容等を追加しております。この下松市教育の指針は毎年度出ておりますけど、この中には各施策について詳しく書いてありますので、ここから追加をしております。

5ページの修正後を見てください。修正箇所は黄色のマーカーで示しております。5か所ほど修正箇所、上から順に説明いたします。

まず、木佐谷委員さんから、コミュニティスクールの認知度が足りないのもっと周知してほしいという意見がありました。そこで黄色の部分ですね、「保護者や地域の人々の学校運営への参画を促すなど」というのを加えております。

市広報「潮騒」の11月号にコミュニティスクールの紹介を見開き2ページで特集しております。各学校の活動とか会長さんのコメントが載っていて大変分かりやすくなっております。その他、様々な方法で周知を図り、参画を広げていきたいと考えております。

次に、白木委員さんから、新型コロナウイルス等の感染症対応に触れなくてもよいのかという意見がございました。そこで2つ目ですけど、「安全、安心な学校づくりに努めます」の前に、「交通安全、防犯、自然災害、感染症等に対応した」というのをつけ加えております。

次に、(3)のところでですけど、江口委員さん、篠原委員さん、林委員さんから、いじめ問題への意見がありまして、いじめ対策の根幹として人権尊重が重要であるというお話でした。そこで「生きる力の核となる豊かな人間性」の前に、「生命を大切にし、人権を尊重する心など」というのを加えました。

次に、(4)のところでですけど、江口委員さんから、教職員の働き方改革についての意見がありました。そこで「働き方改革を推進し」の前に「学校業務の見直しや部活動の適切な運営等」というのをつけております。

最後に、下の主な事業のところ、いじめ対策事業であります「心豊かな子供を育てる推進事業」というのを追加しております。

以上、5か所を追加し、修正することとしております。

今後の教育大綱策定のスケジュールですが、下松市総合計画の前期基本計画は現在パブリックコメントを実施しておりまして、それらの修正を、最終修正を行いまして来年3月に確定しますので、これに併せて下松市教育大綱も来年3月に策定ということになります。

以上でございます。

○**教育長** 教育大綱についてご意見を頂いたことをもとに、修正案をつくらさせていただきました。それについての理由等の説明がありましたが、何かご感想とかご意見がありましたら、お願いいたします。白木委員。

○**委員** 非常に上手に(笑声)入れちゃってなど、そういう感想です。(笑声)

○**教育長** 江口委員。

○**委員** 私もより具体的になって分かりやすくなって、大変にいいと思います。

○**教育長** ありがとうございます。では、これについては、この方向で改正していくということで、よろしく願いをいたします。

本日の議案についての審議は以上でございます。

～ その他報告・連絡事項 ～

○**教育長** それでは、各課から報告事項等ありましたら、お願いをいたします。長弘図書館長。

○**図書館長** お手元に「下松で古地図散歩」というリーフレットを2種類お配りしております。

先日の総合教育会議では、図書館のデジタル化についてご清聴どうもありがとうございました。

その中では郷土資料デジタルアーカイブということで、下松の魅力を発信するというお話したんですけども、今回このリーフレットで、さらに下松の魅力を発信したいという思いがあります。

2種類つくっているんですけども、「鷲頭山と下松藩の歴史を歩こう編」と「商業と塩田で栄えた下松を歩こう編」。これは萩藩が地下上申絵図ということで、統計資料とかを藩が集めて今で言う県勢要覧とか市勢要覧とか、そういったものをつくるような感じで藩がいろんな統計資料を集めていまして、その中の地図を県の文書館が持っております。その地図を基にリーフレットをつくって、現在の地図との対照、対応したり、その地図から分かる下松の昔の歴史を発信していこうというものです。

裏と表と——どっちが裏か表か分かりませんが、説明のほうと大きく地下図、地図、江戸時代の地図が出ている面があります。これはピンク色のほうを下にして、緑のほうを上にして地図同士を重ねると大きな下松の市域図になるというつくりをしています。地図同士をこのように重ねていくという。（「いいですね」「そうですね」と言う者あり。）

江戸時代の道が今もいろんなところに残っています。東光寺のあの細い道とかいっぱい、そのまま下松の江戸時代の道です。それぞれ歴史があって、ぜひこれを片手に町を歩いて、町の魅力を発見したり、誇りを持ってもらったり、そういうことにつなげていきたいという事業です。古地図散歩で町の魅力発見事業という事業を立ち上げて、この地図をつくったということです。

今後はこの地図を持って説明を聞きながら町歩きができるというような仕組み、今度は仕組みづくりですね。まず、このリーフレットできっかけをつくり、その後、町を歩く仕組みをつくっていききたいというふうに考えています。これまだ出来たてほやほやなんですけど、12月に入って記者発表等をして、多くの市民に利用してもらえそうなものにしていきたいと思っています。以上です。

○**教育長** 大変すばらしい古地図散歩ですね、リーフレットができておりますが。これ配布部数とか配布先について分かっているならば、説明をお願いいたします。

○**図書館長** これは一般財団法人地域活性化センターというところの補助金を頂いてつくっております。その関係で結構な部数をつくって、各5万部ずつつくっています。

当面、小中学生全員、あと小中学校の教職員全員には配布しようと思っています。高校にも自由に取れるぐらいの部数は送る、市内の高校には送るということにしています。あと各公民館、それから下松市観光協会、あときらぼし館とか大城とか、そういった施設には全部配布していききたいと思います。

以上です。

○**教育長** ありがとうございます。江口委員。

○**委員** これはまだ2話だけで完結はなくて、まだシリーズは続くんでしょうか。例えば花岡のとか。

○**教育長** 長弘館長。

○**図書館長** 花岡については県が作っている事業で、これは御国廻御行程記、^{おくにまわりおんこうていき} 地下図とは違って歴^{ちげず}代藩主が国を、山口県、長州藩を回るというためにつくられた御国廻御行程記という地図を基に、花岡の地図は県がつくっていますので、それを生かしたいと思っています、当面はこの2種類（「2種類」と言う者あり。）です、はい。

○**委員** はい、分かりました。

○**教育長** よろしいですかね。（「はい」と言う者あり。）ありがとうございます。

そのほかございますか。引頭課長補佐。

○**教育総務課長補佐** 私のほうから2点ほどご連絡いたします。

まず、来月定例会の予定ですが、第4木曜日が24日、12月24日となっております。501、こちらの会議室、1時半からでよろしく願いいたします。

もう一点ですが、例年この時期に新年賀詞交歓会、商工会議所さんが主催する賀詞交歓会に委員の皆様も出席していただいております。本来なら、この時期に出欠を取るところなんですけども、今新型コロナウイルスの感染症が拡大しているため、今年度につきましては人数制限等があ

りまして、教育委員会からは教育長のみの出席というふうにさせていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

以上です。

○**教育長** そのほかございませんかね。小田教育部長。

○**教育部長** 今回の関係で、新年賀詞交歓会は欠席と、委員さんはですね。そういうことでございまして、来年1月4日、月曜日になるんですけど、本来ですと11時から交歓会ありますんで、10時頃、教育長室に集まっておきまして、市長、副市長に年賀挨拶というのをしております。これも賀詞交歓会欠席に伴いまして中止とさせていただきます。

今回は職員のほうも、12月28日の公務納め式は中止となりまして、1月4日の公務始め式も次長以上の出席と、最小限で行うということになっております。

それと、下松市成人式ですけど、1月10日、日曜日。例年ですと主催者として委員さんにも出席を頂いておりましたが、今回は最小限ということで主催者来賓としては、市長、教育長、議長のみということになりました。コロナ対策ということで新成人のみの出席で、家族は入場できないということになっております。

あと、もう一つ、市長を囲む会というのを毎年度やっておりました。委員さんと小中学校校長と事務局が出席しておりました。例年11月末か12月初め頃、やっておきまして、去年は11月29日の金曜日にやっておりますけど、これもコロナ対応ということで中止とさせていただきます。

以上でございます。

○**教育長** はい。こういう時期ですので、様々な行事の縮小とか参加の取りやめというのがありますが、ご理解のほどよろしく願いいたします。

そのほか。なければ終わりたいと思いますが。はい。

それでは、以上をもちまして、本日の教育委員定例会を終了したいと思います。どうもお疲れさまでした。

午後1時56分終了